

## 道徳 評価の視点【2年】

教材名	二年生の どうとくの 学しゅうが はじまるよ どうとくでは こんな 学しゅうを するよ
ねらい	教材に示された絵や文章をもとに、友達と考えを交流する活動をとおして、道徳科の学習における学び方を理解するとともに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めようとする意欲をもたせる。
評価の視点	友達との対話をとおして、自分自身を見つめ、自分の考えを意欲的に伝え合うことができているか。 友達の発言を受容的に聞き、自分の考えとは違う意見を大切にしようとする態度で学習できているか。

教材名	春が いっぱい 「自然を感じる」
ねらい	身のまわりの春について考えることをとおして、自然のすばらしさや動植物との接し方に気づき、すすんで自然を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	友達の考えにふれ、身近な動植物や光や風などの自然について、多面的・多角的に考えることができているか。 優しく、温かい心で身近な動植物に接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	知らない 人にも 「挨拶の相手」
ねらい	知らない人にも挨拶をするお兄ちゃんの行動を見た時や、校長先生の話聞いた時の「ぼく」の心情について考えることをとおして、改めて挨拶の大切さに気づき、場に応じた言葉づかいや気持ちのよい挨拶をしようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	友達の考えにふれ、知らない人(来訪者)にも挨拶をすることの意義や大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 知らない人(来訪者)にも挨拶をすることの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	よいのかな 「きまりを守って」
ねらい	たつやさんの行動について考えることをとおして、約束やきまりの大切さに気づき、きまりを守って生活しようとする判断力を育てる。
評価の視点	友達の考えにふれ、自己中心的な発想の問題点について、多面的・多角的に考えることができているか。 楽しく遊ぶためにも約束やきまりが必要であることについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	みんなの ものって? 「みんなのものを大切に」
ねらい	「ぼく」の行動をもとに約束やきまりについて体験的に学ぶことをとおして、約束やきまりの大切さに気づき、みんなが使うものやみんなのものを大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	約束やきまりについて理解を深め、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができているか。 みんなが使うものを大切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	たかしくんも いっしょに 「分け隔てなく」
ねらい	たかしくんに対するみんなの行動について考えることをとおして、仲間はずれをしないことの大切さを理解し、誰に対しても公正・公平に接しようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	「なかまはずれ」にされた人、した人、助けにいった人などさまざまな登場人物に共感し、「なかまはずれ」という問題について、多面的・多角的に考えることができているか。 自分のクラスでも起こりかねない問題として捉え、「なかまはずれ」が起こらないようにするためには、どのようにしていくのがよいかについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	るっぺ どうしたの 「生活を見直す」
ねらい	るっぺの生活について考えることをとおして、規則正しい生活や周りの人に対する態度について考え、わがままな行動をせず、正しい生活態度で過ごし、周りの人に迷惑をかけないようにしようとする心情を育てる。
評価の視点	友達の考えにふれ、わがままな行動の問題点について、多面的・多角的に考えることができているか。 わがままをせず、規則正しい生活を送ることの大切さに気づき、これからどのようにすればよいかについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	わたしだけの かばん 「物を大切に」
ねらい	「わたしだけのかばん」を作ってもらったえりの気持ちについて考えることをとおして、物の大切さについて気づき、わがままをせず、節度のある生活を送ろうとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	登場人物や友達の考えにふれ、物を大切にすることからわかることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 物を大切にすることの価値に気づき、物を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	教えて いいのかな 「安全を守る」
ねらい	「ぼく」の行動について考えることをとおして、個人情報の流出などの危険を防ぎ、安全に生活することの大切さを理解し、安全に生活しようとする判断力を育てる。
評価の視点	友達の考えにふれ、危険を避けて安全に生活するためには、どのようにすればよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 危険を避けて安全な生活を送るために必要なことに気づき、今後どのようにすればよいかについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	金のおの 「いつも正直に」
ねらい	正直なきりとなかまのきりの行動について考えることをとおして、正直に生きることの大切さを考え、うそをついたり、ごまかしたりせず正直に生活しようとする判断力を育てる。
評価の視点	友達の考えにふれ、失敗を認め、素直に謝ることのよさや、正直さとは何かについて、多面的・多角的に考えることができるか。 嫌なことから逃れようとして、うそをついたりごまかしたりしないようにするとともに、人の失敗を責めたり笑ったりしないで生きようとするということについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	あと少し 「やりぬく心」
ねらい	二重跳びができるようになりたいと努力を続けた「ぼく」の気持ちや行動について考えることをとおして、自分の目標をもち、どんなにつらくとも諦めないで自分で立てた目標を達成しようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	友達の考えにふれ、苦しいことに対しても諦めずに努力することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 目標に向かって努力することの大切さを理解し、自分の立てた目標は、どんなにつらくとも諦めないで達成しようとする意欲と態度について、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	はりきりパンダとだらだらパンダ 「負けない心」
ねらい	やる気が起こらず、やるべきことに取り組みずに困っているあやちゃんの気持ちや行動について考えることをとおして、怠けたいという気持ちに負けずに、強い意志をもって自分のやるべきことを行おうとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	友達の考えにふれ、自分のやるべきことをしっかりと行うことの大さを理解し、怠け心に打ち勝つ方法について、多面的・多角的に考えているか。 怠けたいという気持ちに負けずに、強い意志をもって自分のやるべきことを行うことの大さや難しさについて、自分との関わりで考えているか。

教材名	みほちゃんと、となりのせきのますだくん 「友達の気持ちになって」
ねらい	みほちゃんとますだくんのそれぞれの気持ちや行動について考えることをとおして、自分の思いだけでなく友達の気持ちも考え、互いの気持ちを理解しながら接しようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	話し合いをとおして、友達の気持ちを考えることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 自分の思いだけでなく、友達の気持ちを考えることも大切にして、互いの気持ちを理解しながら接することについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	およげないりすさん 「友達の立場になって」
ねらい	仲間はずれにされたりすさんと、仲間はずれをしたあひるさんとかめさんと白鳥さん両方の気持ちや行動について考えることをとおして、友達と仲よくし助け合うことの大切さに気づき、よりよい友達関係を築こうとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	友達の立場になって考えることの大切さに気づき、どのように行動していくことがよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 友達の気持ちを考えることの大切さを理解し、よりよい友達関係を築き、互いに助け合うことについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	電車の中で 「相手を思って」
ねらい	電車の中の男の人の行動について考えることをとおして、他者に対して思いやる行動をとることのすばらしさについて気づき、温かい心ですすんで他者に親切にしていこうとする判断力を育てる。
評価の視点	親切や思いやることについての友達の考えにふれ、困っている相手のことを思いやり、温かい心で親切に接する行為について、多面的・多角的に考えることができているか。 困っている相手のことを思いやり、温かい心で親切にすることの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	きゅう食当番 「温かい心で」
ねらい	「わたし」たちの行動について体験的に学ぶことをとおして、他者に対する親切心や温かい心についての考えを深め、さまざまな人に関心を向けて、温かな心で接しようとする心情を育てる。
評価の視点	親切にすることについて理解を深め、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができているか。 身近なさまざまな人の考えや気持ちに気づき、親切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	とおるさんのゆめ 「よさを伸ばす」
ねらい	友達のよいところについて考えることをとおして、自分のよいところに気づき、そうしたよいところを伸ばそうとする心情を育てる。
評価の視点	友達との関わりをとおして、友達や自分のよいところについて、多面的・多角的に考えることができるか。 自分のよさについて考える授業をとおして、自分のよいところや悪いところなどにさまざまな視点から気づき、どのようによいところを伸ばすかについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	ぼんたとかんた 「よいことをすすんで」
ねらい	ぼんたとかんたの行動について考えることをとおして、物事のよいことと悪いことに対する考えを深め、よいと思うことをすすんで行おうとする判断力を育てる。
評価の視点	話し合いをとおして、よいことと悪いことを正しく判断するにはどうすればよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 善悪を判断することの大切さを理解し、正しいことを自らすすんでしようとすることについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	つよいこころ 「心の強さ」
ねらい	勇気を出して行うことについて考えることをとおして、物事のよいことと悪いことを区別し、強い心をもってよいと思うことをすすんでしようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	友達の考えにふれ、正しいことを勇気を出して行うには、何が必要であるかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 勇気を出して正しいことを行うことのよさについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	おむかえ 「家族の一員として」
ねらい	お姉ちゃんや「わたし」の気持ちや行動について考えることをとおして、家族の愛情に気づき、家族に対する愛情をいっそう深めようとする心情を育てる。
評価の視点	家族が愛情をもって接してくれていることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 家族の愛情を受け止め、家族のためにできることをすすんで行おうとすることについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	ぼくもがんばるよ 「家族のために」
ねらい	自分のことは自分でがんばろうとするこいつの行動について考えることをとおして、家族に対する愛情や家族の一員としての役割に気づき、積極的に家族と関わり、生活しようとする実践意欲と態度を育てる。

評価の視点	<p>友達の考えにふれ、家族とともに支え合い、家族の一員として家族の役に立とうとする行為について、多面的・多角的に考えることができるか。</p> <p>家族とともに支え合い、家族の一員として家族の役に立つことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。</p>
-------	--

教材名	大なわ大会 「素敵な学級」
ねらい	ゆきなさんとくみさんの学級で起きた大縄大会でのできごとを考えることをとおして、友達と一緒に自分たちの学級を大切に、よりよい学級にしようとする心情を育てる。
評価の視点	<p>友達の考えにふれ、より素敵な学級にするためには、互いに助け合い励まし合うことなどが必要であることについて、多面的・多角的に考えることができるか。</p> <p>より素敵な学級にするためには、互いに助け合い励まし合うことなどが必要であることについて、自分との関わりで考えることができるか。</p>

教材名	ありがとうはだれが言う？ 「周囲への感謝」
ねらい	お客さんも店員さんにお世話になっていることに気づいた「ぼく」の心情の変化について考えることをとおして、日頃からお世話になっている全ての人に感謝の気持ちをもつことの大切さに気づかせ、日常生活のさまざまな場面で感謝の気持ちを表そうとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	<p>友達の考えにふれ、お世話になっている身近な人々に対して感謝の気持ちを伝えることの意義や大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。</p> <p>日頃からお世話になっている身近な人々に対してどのような態度で接したり、どのような言葉かけをしたりすればよいかについて、自分との関わりで考えることができるか。</p>

教材名	きつねとぶどう 「家族への感謝」
ねらい	子ぎつねを守った親ぎつねの愛情について考えることをとおして、家族などの日頃お世話になっている人々に、感謝の気持ちを伝えることの大切さに気づき、感謝の気持ちを表そうとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	<p>主人公をおととして、家族などの日頃自分のために尽くしてくれている周囲の人々の存在について、多面的・多角的に考えることができるか。</p> <p>家族などの身近な人々からの愛情に対して感謝の気持ちをもつことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。</p>

教材名	ゆかみがき 「楽しく働く」
ねらい	ゆかみがきをする二人の気持ちや行動について考えることをとおして、自ら働くことのよさや楽しさについて気づき、すすんでみんなのために働こうとする実践意欲と態度を育てる。

評価の視点	<p>友達の考えにふれ、みんなのために働くということについて、多面的・多角的に考えることができるか。</p> <p>みんなのために働くことよさに気づき、すすんで仕事をしようとするということについて、自分との関わりで考えることができるか。</p>
-------	--

教材名	今のぼく、むかしのぼく 「私たちの命」
ねらい	自分が生まれた頃のことを確かめる「ぼく」の気持ちについて考えることをとおして、自分の生命が多くの人によって大切にされ、支えられていることに気づき、生命を大切に生活しようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	<p>登場人物や友達の考えにふれ、自分の生命は多くの人によって大切にされ、支えられていることについて、多面的・多角的に考えることができるか。</p> <p>自分の生命は多くの人によって大切にされ、支えられていることについて、自分との関わりで考えることができるか。</p>

教材名	せい長かいだん 「命を見つめる」
ねらい	これまでの自分を振り返って考えることをとおして、自分の成長は多くの人に支えられてきたことに気づき、これからも生命を大切にしようとする心情を育てる。
評価の視点	<p>友達の考えにふれ、自分の生命は多くの人によって大切にされ、支えられていることについて、多面的・多角的に考えることができるか。</p> <p>自分の生命は多くの人によって大切にされ、支えられていることについて、自分との関わりで考えることができるか。</p>

教材名	しあわせの王子 「心の美しさ」
ねらい	王子とつばめの気持ちや行動について考えることをとおして、美しいものや美しい心についての理解を深め、美しいものや気高いものに感動しようとする心情を育てる。
評価の視点	<p>美しいものや美しい心についての友達の考えにふれ、王子やつばめのもつ心の美しさについて、多面的・多角的に考えることができるか。</p> <p>美しい心や、美しい心から生まれる行動のよさについて、自分との関わりで考えることができるか。</p>

教材名	日本のたから 富士山 「国やふるさとのよさ」
ねらい	富士山やその周りの自然についてよいと感じているまなさんの気持ちについて考えることをとおして、地域のよさに気づき、国や郷土に親しもうとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	<p>友達の考えにふれ、国や郷土の文化や生活について、多面的・多角的に考えることができるか。</p> <p>国や郷土の文化や生活のよさについて、自分との関わりで考えることができるか。</p>

教材名	国旗と国歌を大切に 「世界の国々」
ねらい	いろいろな国々の国旗や国歌にこめられた思いなどについて考えることをとおして、国旗や国歌に対する考えを深め、他国に対する理解や親しみをもとうとする判断力を育てる。
評価の視点	グループでの交流を通じて、国旗にこめられた意味とその大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 国旗や国歌の大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	虫が大すき——アンリ・ファーブル—— 「自然に親しむ」
ねらい	身のまわりの虫たちに対するファーブルの姿勢について考えることをとおして、身近な自然や生き物に対する興味・関心を高め、自然や動植物を大切にしようとする心情を育てる。
評価の視点	友達の考えにふれ、自然や動植物との関わりについて、多面的・多角的に考えることができているか。 自然や動植物に親しむことの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	みぢかなしぜん 「自然とふれ合う」
ねらい	「こどもの森マップ」をもとに自然の大切さについて考えることをとおして、身近な自然の中で楽しく遊んだり、植物を育てたり、動物と接したりして、優しい心で自然とふれ合おうとする心情を育てる。
評価の視点	友達の考えにふれ、自然のすばらしさや楽しさ、優しい心で動植物に接することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 身近な自然の中で楽しく遊んだり、植物を育てたり、動物に接したりして、優しい心で自然とふれ合うことについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	いただきます 「命を食べて生きる」
ねらい	「いのち」を食べて生きていることについて考えることをとおして、生きているもの全てに生命があることに気づき、全ての生命を大切にしながら感謝の気持ちをもって食事をしようとする心情を育てる。
評価の視点	友達の考えにふれ、生命について、多面的・多角的に考えることができているか。 生きているもの全てに生命があり、「命を食べる」ことで生かされていることについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	雨上がりの空に 「すがすがしい心」
ねらい	日常生活の中で見られる自然が作り出す美しさについて考えることをとおして、自然の美しさや神秘さなどに気づき、それらに素直に感動し、すがすがしい心をもとうとする実践意欲と態度を育てる。

<p>評価の視点</p>	<p>友達との話し合いをとおして、美しいものに感動する心について、多面的・多角的に考えることができるか。</p> <p>美しいものにふれ、その道徳的価値について、自分との関わりで考えることができるか。</p>
--------------	--

<p>教材名</p>	<p>あがれ、大だこ 「大好きな私の町」</p>
<p>ねらい</p>	<p>地域に伝わる伝統的な行事について考えることとおして、自分たちが住む町のよさに気づき、伝統的な行事に愛着をもって、すすんで参加しようとする実践意欲と態度を育てる。</p>
<p>評価の視点</p>	<p>主人公の立場になって、伝統行事や古くから伝わるものについて、多面的・多角的に考えることができるか。</p> <p>伝統行事や古くから伝わるものの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。</p>